

三重県

災害ボランティア
シンポジウムin三重
開催報告

平成30年1月13日（土）、ホテルグリー
ンパーク津にて三重県と当協会主催による
「災害ボランティアシンポジウムin三重」が
開催されました。

冒頭に主催者を代表して、富田三重県環
境生活部次長と当協会の吉田理事長が挨拶
し、国立研究開発法人防災科学技術研究
所理事長林春男氏による講演と認定特定非
営利活動法人レスキューストックヤード常
務理事浦野愛氏による事例発表が行われ、
後に、みえ防災市民会議議長山本康史氏
を意見交換進行役として、当日会場から寄
せられた質問をベースに、両先生から貴重
なご意見を頂きました。

講演

13:40～14:40

高齢化社会での防災ボランティア
活動について考える

国立研究開発法人防災科学技術研究所

理事長 林春男氏

南海トラフ地震が発生する蓋然性が高い
中、進展する社会構造の変化（超高齢社
会へ）に伴いボランティアの担い手も減



林春男氏

1951年東京都生まれ。1983年、カリフォルニア大学
大学院ロスアンジェルス校心理学科修士号修得。専門
は、社会心理学・危機管理・災害時の人間行動。京都
大学防災研究所教授を経て、2015年より現職。2013
年9月、防災功労者内閣総理大臣表彰受賞。

少していくことや、仮に南海トラフ地震
が発生した場合の災害の大きさや三重県
下における影響、そのための対策、あら
かじめ準備しておくべきことなどについ
て講演頂きました。

事例発表

14:50～15:20

できることから始めよう！
私にもできる災害・減災
ボランティア

認定特定非営利活動法人レスキューストックヤード

災害ボランティア活動における留意すべき
常務理事 浦野愛氏

ポイントや、避難所生活の厳しい実態と、そ
れに対応するための工夫や知恵、道具の準備
や練習、やり方を知っていることの重要
性などを講演頂きました。



浦野愛氏

1976年生まれ。阪神・淡路大震災では、「同朋大学ボランティア
ネットワーク」のメンバーとして被災者支援にあたる。大学卒業
後、特別養護老人ホームデイサービスセンターへの勤務を経て、
レスキューストックヤードの事務局スタッフとなり、2004年度より
同事務局局長、2009年度より常務理事を務める。

意見交換

15:20～16:20

林春男 × 浦野愛
意見交換進行役 山本康史

国立研究開発法人防災科学技術研究所

理事長 林春男氏

認定特定非営利活動法人レスキューストックヤード

常務理事 浦野愛氏

意見交換進行役

特定非営利活動法人みえ防災市民会議

議長 山本康史氏

会場から寄せられた質問票をベースとし
て、意見交換進行役から両先生にいくつ
かの質問を投げかけ、それぞれの立場から今
後の参考となる意見を頂きました。